

今後の地方公共団体の情報セキュリティ対策に係る検討事項について (セキュリティの確保と利便性の向上関係)



総務省

2023年2月21日

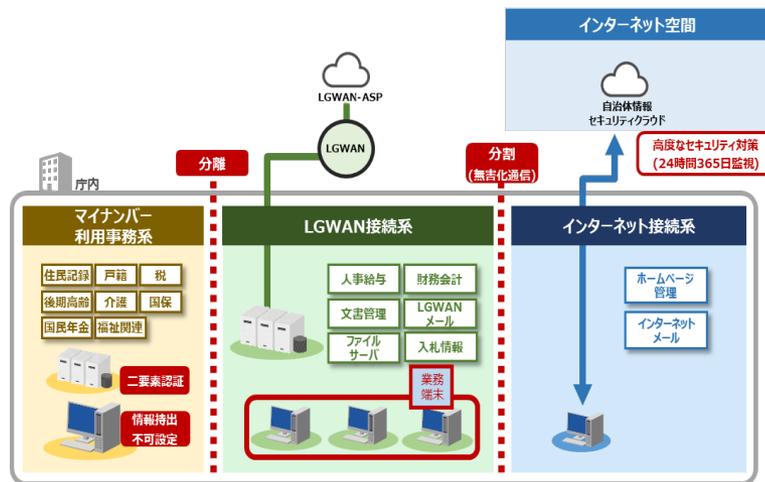
地方公共団体における情報セキュリティポリシーに
関するガイドラインの改定等に係る検討会

ガイドラインで定義する「三層の対策」のモデル

令和2年度ガイドライン改定により、業務端末をLGWAN接続系に配置する α モデル（従来モデル）に加え、利便性を高めるため、高度なセキュリティ対策を実施することを条件に、インターネット接続系に業務端末を配置する β （ β' ）モデルを提示

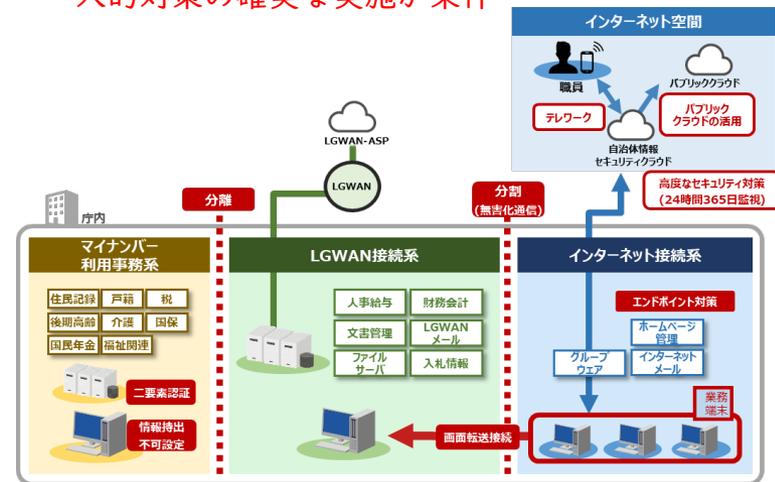
α モデル

- LGWAN接続系に主たる業務端末を配置



β モデル

- インターネット接続系に主たる業務端末を配置
- セキュリティリスクを考慮し、EDR等の技術的対策に加え、緊急時即応体制の整備等の組織的、人的対策の確実な実施が条件



※ β モデルのうち、重要な情報資産をインターネット接続系に配置する場合は「 β' モデル」

各モデルにおけるクラウドサービスの利用方法

	LGWAN接続系	インターネット接続系
α モデル	LGWAN-ASPを利用	
β モデル	インターネット接続系で利用	○

想定される主な論点例

検討の方向性

- 地方公共団体の規模等によって対応可能なセキュリティレベルに差があることから、新たな技術や環境の変化を踏まえ、 α モデル・ β モデルそれぞれの採用団体への支援が求められるのではないか。

1 LGWAN接続系における安全なクラウドサービス利用に関する基準の検討 (= α モデル採用団体への支援)

- ・今年度のガイドライン改定において、地方公共団体情報システムの標準化の動向を反映し、マイナンバー利用事務系（基幹業務システム）におけるクラウド利用に関して、一定の整理を行ったところ。
- ・地方公共団体において、Web会議等のローカルブレイクアウト（※）などLGWAN接続系におけるクラウド利用の要請が高まっている。地方公共団体情報システム機構（J-LIS）において開催されている「次期LGWANに関する検討会」の方向性とも整合性を図り、業務上の必要性とセキュリティリスクを踏まえ、LGWAN接続系におけるクラウド利用の基準について検討を行う。

※ローカルブレイクアウト・・・特定のクラウドサービス向けの通信について、各団体から直接インターネット接続を行う方式

2 インターネット接続系に業務端末を配置する β （ β' ）モデル移行のための方策の検討 (= β （ β' ）モデル移行を目指す団体への支援)

- ・ β （ β' ）モデル移行・運用に当たっての課題調査を行い、移行を希望しつつも対応ができていない団体について、円滑な移行のための方策について検討を行う。
- ・既に β （ β' ）モデルに移行している団体に対しては、より長期的な観点からLGWAN接続系に残るシステムとの連携やセキュリティクラウドの課題について検討を行う。

(参考) ローカルブレイクアウト接続のイメージ

